

秋の交通安全運動で街頭啓発



スピードダウン呼び掛け

白石厚別建協 北13条北郷通に並ぶ



地域住民と共に沿道に並んだ

白石厚別建設協会(武藤征一会長)は26日、北白石地区特別街頭啓発に協力した。地域の町内会や小中学校PTAの関係者らと共に、総勢約30

0人で北13条北郷通沿い約300mに並び、走行車両に交通安全を呼び掛けた。

同協会からは約20人が参加。「スピード落とそう」などと書かれた旗を、ドライバーに向けて掲げた。

武藤会長は「白石地区は交通事故死ゼロ300日を達成したが、その後死亡事故が起きてしまった。また事故死ゼロを積み上げて365日を達成できるよう、街頭啓発を通して交通安全を訴えて

いきたい」と話した。北白石小の6年生約100人も「地域の一人として、事故のない地域づくりに力を合わせて取り組みたい」との決意で沿道に並んでいた。

